

【緊急メッセージ】立命館大学体育会の皆さんへ（第三報）

立命館大学学生部長 川方裕則

新型コロナウイルス感染症の感染者は、すでに緊急事態宣言下を上回る数になってきており、より一層の対策が求められています。そして、いくつかの大学では課外自主活動団体での集団感染（感染クラスタ）の発生も報道されています。

立命館大学においても、複数の懸念すべき状況が確認されており、今のままでは早晚すべての体育会の活動が停止に追い込まれる事態になりかねません。体育会全体で真摯に感染症対策に取り組まねばなりません。一人でも不適切な行動があれば、その行動が招く結果は甚大なものとなります。

夏季休暇に入り、旧友との交流や学生同士での交流、同居家族以外の人との交流などの誘いが増える状況にあると思います。**食事の機会やそれ以外も含め、マスク非着用の人と交流をする機会は感染のリスクを高めることになります。今は平常時ではありません。**対面での飲食を控えることは体育会に関わらず全学生にすでに要請されていますが、体育会活動は特にリスクが高い活動であることを意識して、自分自身と周囲の学生の健康を守ること、そして、皆さんの活動を守ることを重視し、感染症対策に徹底的に取り組んでください。**同居家族以外との対面での食事は控え、避けられない場合は部活動参加を見送るようにして下さい。**

皆さんの活動は、とても大切な営みですが、自分たちで自分たちの活動の価値を下げたり、活動を停止させたりする原因をつくらないように、気を引き締め直してください。残念ながら**注意喚起だけで済む状況ではなく、本当に活動が停止される危機に直面しています。これまでのメッセージで記載したことは再掲しませんが、もう一度、注意深く読み直して下さい。**

皆さんの活動が、少しでも安全に、少しでも長く継続していけるように、部員全員が適切な行動を継続的にとることを、改めて強く要請します。活動停止につながるようなリスクの高い不適切な行動が続くようであれば、全体の活動を停止せざるを得なくなります。

不適切な行動をとってしまった場合でも、感染の確率は100%ではないので「必ず感染する」ということではありません。そうするとマスク非着用で出かけたが感染しなかった、友人と対面で食事をしたが感染しなかった、密室で交流する機会があったが感染しなかった、等の経験を持つことになるでしょう。この**経験をもとに「自分は大丈夫」と根拠のない自信を持ってしまうことを「正常性バイアス」と言います。**この心理は、繰り返し同じ行動、あるいはよりリスクの高い行動をとることにつながり、結局感染してしまうまで、あるいは濃厚接触者になるまで継続されてしまいます。これらの不適切な行動は「偶然感染しなかっただけ」であることをしっかりと受け止め、行動を正していくことが大切です。自分は自分、周囲は周囲、ではなく、周りの学生に対しても注意を喚起し、皆さん自身の力で皆さんの活動を守ってください。

・2週間以内に友人など同居家族以外の人と対面で食事をした人、マスク非着用で外出をした人、その他適切ではない行動をとってしまったという人は、しっかりと自己申告をし、活動参加を控えてください。部内でも活動に参加を認めない方針を徹底してください。

以上

【参照すべき資料】

○今、学生のみなさんに考えてほしいこと ～新型コロナウイルスの感染拡大による「緊急事態宣言」の発出を受けて～

<http://www.ritsumei.ac.jp/infostudents/campus-diary/>

○キャンパス内外における新型コロナウイルス感染および感染拡大防止に向けた注意喚起

http://www.ritsumei.ac.jp/startup/online2020/assets/file/ja_Alert_to_prevent_the_spread_of_new_coronaviruses_on_and_off_campus.pdf

○【緊急メッセージ】立命館大学体育会の皆さんへ

○【緊急メッセージ】立命館大学体育会の皆さんへ（第二報）

○新型コロナウイルスを防ぐためのワンポイントレッスン

<http://www.ritsumei.ac.jp/news/detail/?id=1809>